

令和元年度 事業実績報告

令和元年度基本方針

平成28年度に策定したネットワークの今後の方向性に基づき、北上川流域の子供達が「地域で育ち、地域に貢献」する姿を目指し、下記の事業方針に基づき令和元年度事業を実施します。なお、策定から3年を経過することから、事業の内容及び成果について検証を行います。

事業方針1：10年後も活躍できるものづくり人材の育成を支援します

産業構造の変化、第4次産業革命等の社会状況の変化に対応できる高度な技術と柔軟な発想を持ったものづくり人材を育成する事業を支援します。

また、情報発信の強化、会員の主体的活動の強化や会員拡大など、運営体制の充実を図ります。

1 高校・短大等対象事業

(1) 実技講習会【R元 計画：30回、R元 実績：37回】

工業高校生を対象とした資格取得に向けた実技講習会等を開催しました。また、実技講習に必要となる講師指定の実習材料について補助しました。

また、令和元年度からは、これまでの取組に加え、県北・沿岸地域の工業系高校で実技講習会を実施する際、当ネットワークの会員企業を講師とする場合、その費用を補助することとしています。

(※いわてデジタルエンジニア育成センターに講師を依頼している3DCAD関係の講座については、令和元年度から高校が直接センターに依頼し、実施することとしたため、計画数から除くこととします。)

申込み 37回、全て実施済み

(花北青雲高校：普通旋盤2級6回、数値制御旋盤3級6回、電子機器組立2級6回、黒沢尻工業高校：第1種電気工事士6回、溶接1回(溶接技能競技大会)、千厩高校：第1種電気工事士4回、電子機器組立3級3回、盛岡工業高校：第1種電気工事士4回、釜石商工高校：電子機器組立3級1回)

【成果】

黒沢尻工業高校機械科2年生で実技講習会を受講した生徒2名が、1月18日に開催された溶接技能競技大会において、優勝(100点満点)と4位を受賞した。

(2) 長期インターンシップ【R元 計画：6校、R元 実績：6校】

各工業高校で長期インターンシップ等を実施します。

工業高校6校、黒沢尻工業高校専攻科で実施

【課題】

一部高校では、製造業のインターンシップ先の確保に苦慮している状況であるため、会員企業のインターンシップ受入可否を調査し、新ホームページで情報提供することが必要。

(3) 地域高度技能人材育成支援事業【R元 計画：2名、R元 実績：2名】

黒沢尻工業高等学校専攻科に通学困難地域からの進学を促進するため、家賃等の補助を行いました。

- ・令和元年度に通学困難地域から入学した2名(1年生)への家賃補助を実施。
- ・専攻科PRのため、釜石商工高校で専攻科2年生の卒業研究の紹介と、釜石商工高校から専攻科に入学し、卒業後は釜石地区の企業で働く若手社員を紹介(2/27)。

【課題】

R2年度の専攻科入学予定者が定員を下回ったため、専攻科と連携して県内工業高校の教員や生徒に、専攻科及び当事業のPRをすることが必要。

(4) 学生フォーミュラ協賛

県内の大学・高専の学生連合チームによる学生フォーミュラチームに協賛します。

案内等がなかったため、協賛しないこととする。

※来年度以降も協賛しないこととする。

2 会員企業等対象事業

(1) ものづくりいわて塾の開催【R元 計画：1期7回、R元 実績：1期7回】

若手従業員を対象に、TPM活動の現場実践を通じてカイゼンへの気付きを学ぶこと、継続的な塾活動を通じて塾生同志の連帯感を醸成することを目的に、ものづくりいわて塾を開催します。なお、ものづくりいわて塾沿岸サテライトとの合同研修等により、切磋琢磨する意識を醸成します。また、塾生等のOB会を開催しました。

○ものづくりいわて塾

講師をPSIコンサルティング 代表 堀内 厚氏、世話人を寺嶋 洋和氏（㈱東北佐竹製作所TPM推進室主査）、アドバイザーを小石川 紳氏（元㈱東北佐竹製作所TPM推進室長）にお願いし、15社28名の塾生で実施。11月までに1期7回実施済み。（5/23～24、6/21、7/19～20、8/23、9/20、10/18、11/15）

※5月はものづくりいわて塾沿岸サテライトとの合同研修を実施

○ものづくりいわて塾OB会

第1回：11/18 県北企業見学会（日本ソーイング㈱岩手工場、SWS東日本㈱二戸工場） 22名参加
※第2回見学会は3/12 一関地区企業見学会（千住スプリングラー㈱、㈱千厩マランツ）を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

【成果】

参加企業からは、他社を見学することが一番の勉強であるため、いわて塾の取組は社員の気づきのために有効であるため継続して欲しいという声を多数いただいている。

(2) グループ勉強会「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催

【R元 計画：1期6回、R元 実績：1期6回】

3～5社（10名程度）による小グループ勉強会。「シンプル」、「手作り」、「ローコスト」なからくり改善を、参加企業間での工場見学、グループワークや実践により学びました。

トヨタ自動車東日本㈱岩手工場 佐藤 好夫氏に講師を、㈱ミクニ 大下 隆之氏に世話人をお願いし、3社4名で実施。1期6回実施済み（5/31、6/28、7/12、10/11、12/20、2/20）。

【課題】

参加者のレベルに差があり、同じ内容の勉強会を受講することで満足度が低くなるため、R2年度は、「初級編」、「実践編」と各レベルに分けて実施する必要がある。

(3) 情報発信

【新規事業】ホームページの立ち上げにより、会員、小中学生、高校生、教員、保護者等のそれぞれのニーズに応じた情報を発信し、当ネットワークの周知やものづくり産業及び会員企業のPRを強化します。また、県内各ものづくりネットワークと連携し、相互で企業情報を発信し、会員企業を県内に広く周知します。

ネットワーク会員企業2社で企画コンペを行い、委託先企業を決定し、ホームページを構築中。3月末に公開。

事業方針2：いわての未来を見据えた人材育成を進めます

学生や児童生徒など、これからの地域を支える人材を育成するとともに、教員の指導力向上や企業と学校の連携を促進し、将来の“ものづくり人材”の育成体制を強化しました。

また、会員企業の従業員の技術力向上に向け、人材育成の取組を展開しました。

1 小中学生対象事業

(1) 工場見学・出前授業支援【R元 計画：68回、R元 実績：68回】

小中学生の希望に応じ、見学先の調整や行程の作成、講師との調整及び学校への講師派遣などを行うとともに、工場見学に要する経費に対する補助を行いました。

また、学校が工場見学や出前授業等を開催するにあたり、見学先や講師の選定をはじめとする運営全般について、学校からの相談対応を行いました。

- ・工場見学 申込 61校、全て実施済み
- ・出前授業 申込 7校、全て実施済み

【成果】

会員企業の協力を得ながら、3,980名の小中学生に地域企業やものづくりについて知る機会を提供することができた。

【課題】

出前授業の実施回数が少ないため、学校への周知の促進が必要。

また、会員企業で実施可能な出前授業の内容、体験メニューなどを調査し、新ホームページに掲載するなど、小中学校に対する情報発信の充実が必要。

(2) 小中学生ものづくり理解促進行事開催支援事業【R元 計画：12回、R元 実績：11回】

団体会員、学校会員が、小中学生を対象としたものづくりの理解促進等に係る事業を実施した場合、その経費の一部を補助しました。

平成30年度からは、県北・沿岸の工業系高校や、工業高等専門学校、産業技術短期大学校、大学を対象に加えているが、さらに今年度は、北上コンピュータ・アカデミーも対象に加え、小中学生のものづくり理解促進を進めると共に興味を喚起しました。

申込 11件（団体4件、学校・短大等7件）、全て実施済み

【成果】

R元年度から対象とした北上コンピュータ・アカデミーにて、ものづくり体験イベントを2回実施するなど、小中学生がものづくり体験の場を、新たに提供することができた。

【課題】

県北・沿岸地域の工業高校も対象にしているが、活用している高校は内陸の2校のみであるため、工業高校への周知が必要。

(3) ものづくり体験教室 in 工場【R元 計画：2回、R元 実績：4回】

小中学生を対象に、工場見学と工場でのものづくり体験教室を開催し、ものづくりの楽しさを感じてもらおうと共に地域企業を知る機会を提供しました。

【夏休み開催】

- ・7/30 花巻会場：(株)アイオー精密 「世界に一つだけのコマ」 参加者：小学生12名、保護者7名
- ・7/31 平泉会場：川嶋印刷(株) 「オリジナル巾着をつくろう」 参加者：小学生10名、保護者6名

【冬休み開催】

- ・1/8 北上会場：(株)薄衣電解工業 「金の葉っぱでしおりを作ろう」
参加者：小学生15名、保護者9名
- ・1/10 奥州会場：鎌田段ボール工業(株) 「段ボールで干支の置物を作ろう」
参加者：小学生21名、保護者16名

【成果】

参加した保護者から「地元にながらどんな工場か知らなかったので、親子共々よい機会になった。」「地元を代表するような会社なので、子供達に知ってもらうことは大切だと思う。」などの感想をいただいている。ものづくりの楽しさを感じてもらうだけではなく、児童・保護者に地域企業を知っていただく良い機会になった。

【課題】

実施企業の継続的な確保が必要。

2 高校生・短大生等対象事業

(1) 工場見学・出前授業支援【R元 計画：45回、R元 実績：42回】

工業高校等の希望に応じ、見学先の調整や行程の作成、講師との調整及び学校への講師派遣などを行いました。また、各工業高校で工場見学や出前授業を行いました。

なお、今年度は黒沢尻工業高等学校専攻科の「地域産業」（出前授業）を、平成30年度に引き続き25回程度開催し、地域企業を知る機会を増やしました。

また、令和元年度からは、これまでの取組に加え、県北・沿岸地域の工業系高校で出前授業を実施する際、当ネットワークの会員企業を講師とする場合、その費用を補助することとしました。

- ・工場見学：申込 5件 全て実施済み（黒沢尻工業、花北青雲、千厩、一関工業高校）
- ・出前授業：申込 37件 全て実施済み（黒工専攻科、花北青雲、千厩、水沢工業高校）
うち黒沢尻工業高校専攻科「地域産業」は全26回実施済み

3 指導者研修支援

(1) 実技講習会、講演会、アドバンスゼミ【R元 計画：3回、R元 実績：4回】

教員等を対象に企業講師による実技講習会や講演会、ベテラン教員から若手教員へノウハウを伝える勉強会を開催しました。

（※いわてデジタルエンジニア育成センターに講師を依頼している3DCAD関係の講座については、令和元年度から高校が直接センターに依頼し、実施することとしたため、計画数から除くこととします。）

- ・実技講習会：花北青雲高校 数値制御旋盤 3級 2回実施済み
- ・講演会：7/10 岩手県小中学校副校長会（講師：(株)アイオー精密）
- ・講演会：11/22 岩手県高等学校教育研究会工業部会 工業研究協議会（講師：東北精密(株)）
- ・アドバンスゼミ：今年度は実施せず、来年度実施に向け調整中。

【課題】

アドバンスゼミの実施に向けて調整していたが、高校（各部会）側で先生方の調整ができず、実施できなかった。来年度実施に向けて今年度から調整はしているが、早めの日程確保が必要。

(2) 企業見学会等支援【R元 計画：28回、R元 実績：30回】

教員等を対象とした企業見学会を実施します。小中学校の教員を対象としたキャリア教育研修会支援の他、小中高大学の教員を対象としたミニ企業見学会（現地集合・解散型見学会）を開催しました。

- ・キャリア教育研修会：8/26 県南、9/6 中部の各教育事務所で実施
- ・教員研修会：申込 9件、全て実施済み。
- ・教員向けミニ企業見学会：8/1、2、5、6、7 花巻地区4社、北上地区10社、一関地区4社、産業技術短期大学校水沢校の計19回、現地集合・解散型の見学会を実施。延べ85名が参加。

【課題】

教員向けミニ企業見学会については、参加した先生の満足度は高いが、全く参加のない学校も多い。教育委員会と連携し、教員が参加しやすい仕組み作りが必要。

4 保護者対象事業

(1) 会員企業の情報発信【R元 計画：3回、R元 実績：4回】

高校を会場とした企業ガイダンス（県南広域振興局事業）において、会員企業情報（いわて県南広域企業ガイド）を配布し、地域企業情報を発信します。

10/28 千厩高校、11/6 水沢工業高校、11/26 一関工業高校、2/20 花北青雲高校で、2年生とその保護者を対象に企業ガイダンスをジョブカフェいわて、県南広域振興局と共催で実施。県南広域振興局で作成している「いわて県南広域企業ガイド」と盛岡広域振興局で作成している「もりおかエリア企業ナビ」に掲載している企業会員45社の情報を掲載したパンフレットを作成し、参加した生徒・保護者に配付。

【成果】

生徒約560人、保護者約30人、教員に対し、ネットワーク企業会員について周知すると共に、県南地域の企業情報を掲載している「いわて県南広域企業ガイド」について紹介することができた。

【課題】

保護者の参加促進。

5 会員企業対象事業

(1) いわて3Sサミット・企業見学会の開催【R元 計画：1回、R元 実績：1回】

3S（整理・整頓・清掃）をキーワードとした取組事例を学び、生産性向上や人材育成を推進するため、サミットと企業見学会を開催します。企画・運営は会員企業等による実行委員会が行います。

3Sサミットについては、2/14に北上市「さくらホール」で開催。企業による発表、講演会、ポスター展示を実施。(有)ウスイ製作所が「いわて3S大賞」を受賞。参加者約170名。

3S企業見学会については、3/5 和同産業㈱、㈱薄衣電解工業、3/10 シオノギファーマ㈱、アイシン東北㈱の見学会を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

【成果】

サミットでの発表内容のレベルも上がり、講演会も体験に基づく内容であったこと、アイシン東北㈱のからくり模型や黒沢尻工業高校専攻科の卒業研究の展示など、参加した方は3Sだけではなく改善という視点でも、とても参考になるものであった。

【課題】

参加者は昨年度に比べ増加しているが、発表者が3社と減少しているため、実施内容について見直しが必要。

(2) グループ情報交換会の開催【R元 計画：3回、R元 実績：3回】

少人数による情報交換会を開催します。テーマは「採用力向上」の予定です。

採用力向上のための勉強会（高卒採用編 4/17、5/24、大卒採用編 11/27）において、勉強会と企業間の情報交換（グループワーク）を実施。

高卒採用編は、24社27名が参加し、1回目は高校教員3名、企業3名を囲む座談会・情報交換会、2回目は伝わる求人票作成のポイント、企業見学会の受入方、適性を見極める面接方法などを勉強し、小グループで情報交換を行った。

大卒採用編は、13社16名に参加いただき、欲しい人物像（ペルソナ）を描き、その人へアプローチする手法を考えるペルソナリクルーティングについて学び、今年就活を行った大学生との意見交換や小グループでの情報交換を行った。

【成果】

高卒採用編では、高校や企業の生の声や、高校生にわかりやすい求人票の書き方等を学ぶことができ、とても参考になったという感想をいただいた。

また、大卒採用編では、学生の生の声や、他社との情報交換、ペルソナリクルーティングという新しい採用の考え方がとても参考になったという感想をいただき、どちらも継続を望む声が多かった。

【課題】

大卒採用編については、2年間同じ内容で実施したため参加者数が伸び悩んだので、新たな内容の検討が必要。

事業方針3：県北沿岸地域と連携したものづくり産業の発展を目指します

県北沿岸地域のネットワークと連携しながら、県全体のものづくり産業の発展に向けた取組を進めます。

- ・ものづくりいわて塾沿岸サテライトと連携したいわて塾の実施（合同研修会の開催）【再掲】
- ・各種事業における県北沿岸地域との連携
- ・県北沿岸地域の工業高校等との情報交換、工場見学等支援

○ものづくりいわて塾沿岸サテライトと連携したいわて塾の実施

- ・ものづくりいわて塾（5/23～24）に、合同研修を実施。

○県北沿岸地域の工業高校等との情報交換、工場見学等支援

- ・4/18～19 県北沿岸地域の工業高校、振興局担当者等との情報交換を実施
- ・（再掲）10/16 ものづくりいわて塾で沿岸の企業（SMC(株)釜石工場、(株)千田精密工業大槌工場）を見学
- ・（再掲）11/18 ものづくりいわて塾OB会で、県北の企業（日本ソーイング(株)岩手工場、SWS 東日本(株)二戸工場）を見学
- ・（再掲）釜石商工高校 電子機器組立3級支援
- ・（再掲）釜石商工高校で専攻科2年生の卒業研究の紹介と、沿岸地区から専攻科に入学し、卒業後は沿岸地区の企業で働く若手社員を紹介（2/27）。

【課題】

県北・沿岸地域の工業高校の周知が必要。

令和元年度 事業実績

【小中学校等対象】

	単位	R1		H30	摘 要
		計画	実績	実績	
(1) 工場見学・出前授業支援	回	68	68	68	工場見学 61 件、出前授業 7 件
(2) 小中学生ものづくり理解促進行事開催支援	団体	12	11	9	
(3) ものづくり体験教室 in 工場	回	2	4	2	

【高校・短大等対象】

	単位	R1		H30	摘 要
		計画	実績	実績	
(1) 実技講習会等支援	回 (学校含む)	30	37	39 (77)	
(2) 長期インターンシップ・モデル 3～5 日間・工業高校 2 年 2 週間・専攻科 1 年 1 ヶ月・専攻科 2 年	校 名 名	6 11 -	6 11 -	6 8 2	(学生自主活動化)
(3) 出前授業・工場見学支援	回 (学校含む)	45	42	46 (72)	
(4) 地域高度技能人材育成支援事業	人	2	2	2	専攻科生 2 名に給付
(5) きたかみ・かねがさきテクノメッセバス代支援	回	1	0	-	

【指導者対象】

	単位	R1		H30	摘 要
		計画	実績	実績	
(4) 指導者研修支援 実技講習会・講演会・アドバンスゼミ	回	3	4	17	
企業見学会等 (小中教員含む) <u>うちミニ企業見学会</u>	回	28 (18)	30 (19)	28 (18)	NW 実施企業見学会 11 回 うちミニ企業見学会 19 回

【保護者対象】

	単位	R1		H30	摘 要
		計画	実績	実績	
(5) 保護者対象事業	回	3	4	3	水沢工業、千厩、一関工業、花北青雲の企業ガイダンスでの情報発信

【会員企業等対象】

	単位	R1		H30	摘 要
		計画	実績	実績	
(1) ものづくりいわて塾	期 回	1 7	1 7	1 7	
(2) いわて塾 OB会	回	2	1	2	3/12 開催予定の見学会はコロナウイルス感染防止のため中止
(3) いわて 3 S サミット、企業見学会	回	1	1	1	3/5、10 開催予定の企業見学会はコロナウイルス感染防止のため中止
(4) グループ勉強会「生産性向上のためのからくり改善勉強会」	期 回	1 6	1 6	1 6	
(5) グループ情報交換会	回	2	3	3	

令和元年度 収支決算書

第2号議案②

【収入の部】

(単位:円)

	令和元年度 当初予算額	令和元年度 決算見込額	差額	摘 要
I 会費収入	4,530,000	4,560,000	30,000	・152会員×@30,000円=4,560,000円 ・会費納入義務会員152社
II 積立金繰戻	1,000,000	1,000,000	0	
III 利子収入	25	64	39	預金利息(積立金の利息も含む)
IV 前期繰越金	1,736,965	1,736,965	0	
v その他	0	6,200	6,200	
合 計	7,266,990	7,303,229	36,239	

【支出の部】

(単位:円)

	令和元年度 当初予算額	令和元年度 決算見込額	差額	摘 要
I 事業費	6,260,000	4,729,479	▲ 1,530,521	・小中学生を対象としたものづくり教育支援事業 ・工業高校生等を対象とした技能取得支援等 ・工業高校教員を対象とした指導者研修支援等 ・会員企業を対象とした若手従業員等研修支援
II 事務費	650,000	607,503	▲ 42,497	・運営委員会開催経費 ・運営委員先進地視察費 ・消耗品費等
III 予備費	106,990	0	▲ 106,990	
IV 積立	250,000	250,000	0	15周年記念事業 ※定期預金へ
合 計	7,266,990	5,586,982	▲ 1,680,008	

令和元年度 収支内訳書

【収入の部】

(単位:円)

	令和元年度 当初予算額(1)	令和元年度 決算額(2)	比較増減(2)- (1) (当初予算比)	摘 要
1 会費収入	4,530,000	4,560,000	30,000	・152会員×@30,000円=4,560,000円 ・153会員中、会費納入義務会員152社(1社は下期入会のため会費免除)
2 積立金繰戻	1,000,000	1,000,000		
3 利息収入	25	64	39	預金利息(積立金の利息も含む)
4 前期繰越金	1,736,965	1,736,965	0	
5 その他	0	6,200	6,200	
合 計(1~5)	7,266,990	① 7,303,229	36,239	

【支出の部】

	令和元年度 当初予算額(1)	令和元年度 決算額(2)	比較増減(2)- (1) (当初予算比)	摘 要
I 事業費(1~5)	6,260,000	4,729,479	▲ 1,530,521	
1 小中学生等対象	1,550,000	1,248,123	▲ 301,877	
(1) 工場見学・出前授業支援事業	600,000	576,500	▲ 23,500	30校へバス代を補助
(2) ものづくり体験教室支援事業	100,000	70,832	▲ 29,168	花巻、平泉、北上、奥州の4会場で実施
(3) 小中学生ものづくり理解促進事業開催費補助	850,000	600,791	▲ 249,209	11件(団体4件、高校・短大7件)に補助
2 高校生・短大生等対象	1,380,000	749,095	▲ 630,905	
(1) 実技講習会等支援事業	420,000	185,395	▲ 234,605	学生フォーミュラ協賛金支出なし 実習材料費は、5校に対し延べ6回補助
(2) 長期インターンシップモデル事業	0	0	0	ゼロ予算
(3) 出前授業・工場見学支援事業	300,000	26,700	▲ 273,300	出前授業講師謝金等
(4) 指導者研修支援事業	100,000	0	▲ 100,000	
(5) 保護者等対象事業	320,000	297,000	▲ 23,000	花北青雲、水沢工業、一関工業、千厩で実施したガイダンスで企業ガイドを配付
(6) 地域高度技能人材育成支援事業	240,000	240,000	0	遠隔地住居支援等10,000円/人月×12か月×2人
3 会員企業等対象	1,300,000	1,033,147	▲ 266,853	
(1) 若手従業員等研修支援事業	1,300,000	1,033,147	▲ 266,853	いわて塾、いわて塾OB会、からくり改善勉強会、いわて3Sサミット等にかかる経費
4 その他	460,000	202,234	▲ 257,766	
(1) ネットワーク総会費	260,000	202,234	▲ 57,766	会場費、講演会講師謝金等
(2) きたかみかねがさきテクノメッセ	200,000	0	▲ 200,000	全て県費で負担できたため支出なし
5 広報費	1,570,000	1,496,880	▲ 73,120	
(1) 広報費	1,570,000	1,496,880	▲ 73,120	HP製作費
II 事務費	650,000	607,503	▲ 42,497	運営委員先進地視察費、運営委員会開催、消耗品費等
III 予備費	106,990	0	▲ 106,990	
IV 積立	250,000	250,000	0	15周年記念大会積立金250,000円
合 計(I~IV)	7,266,990	② 5,586,982	▲ 1,680,008	

収入決算見込額①	7,303,229
支出見込み額②	5,586,982
差引残額見込額①-②	1,716,247

↓
次年度繰越予定額

【積立の状況】	
R元年度末	記念大会： 750,000円
	利息 64円

令和元年度 現預金および備品の状況

令和2年3月末日時点

現預金

種別	銀行	支店	口座番号	金額	備考
普通	岩手銀行	北上支店	2022722	1,716,247円	

定期預金

種別	銀行	支店	口座番号	金額	預入期間	満期	備考
定期	岩手銀行	北上支店	2111190	750,064円	1年	2020/4/6	平成29年度積立

(定期預金合計)

750,064円

備品等

項目	種別	数量	製造会社・品番等	摘要
備品	ビデオカメラ	1	パナソニック HC-V230M	平成26年度購入分
	ラップトップパソコン	1	パナソニック CF-59JYEPDR	平成22年度購入分
	ラップトップパソコン	1	富士通 LIFEBOOK AH77/B3	平成29年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 受信機	30	アツデン UHF RECEIVER 50UR	平成21年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 受信機	12	アツデン UHF RECEIVER 50UR	平成23年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 送信機	2	アツデン UHF TRANSMITTER 50UR	平成21年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 受信機	21	アツデン UHF RECEIVER 50UR	平成29年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 送信機	3	アツデン UHF TRANSMITTER 50UR	平成29年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 受信機	2	アツデン UHF RECEIVER 50UR	平成30年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 送信機	1	アツデン UHF TRANSMITTER 50UR	平成30年度購入分

令和元年度 積立金収支決算書

(単位:円)

	令和元年度 収入	令和元年度 支出	摘 要
I 繰越金	1,500,064	-	平成30年度からの繰越
II 一般会計より繰入	250,000	0	15周年記念事業積立分
III 一般会計へ繰り出し	0	1,000,036	ホームページ制作費について一般会計へ繰戻
IV 預金利息	36	0	
合 計	1,750,100	1,000,036	

収入合計 1,750,100 円 - 支出合計 1,000,036 円 = 差引残額 750,064 円

差引残額は、次年度に繰り越すものとする。

◆ 積立金の内容

- 1 15周年記念事業 750,000 円 (平成29年度よりネットワーク15周年記念事業準備目的で積立)
- 2 預金利息 64 円

監査報告書

北上川流域ものづくりネットワーク令和元年度収支決算にあたり、証拠書類等を監査した結果、適正に執行されているものと認めます。

令和2年 4 月 13 日

監 事 小原 康司 

令和2年 4 月 10 日

監 事 木村 幸男 



北上川流域ものづくりネットワーク 令和元年度 活動状況報告

令和元年度は、3つの事業方針「10年後も活躍できるものづくり人材の育成を支援します」「いわての未来を見据えた人材育成を進めます」「県北沿岸地域と連携しものづくり産業の発展を目指します」を掲げ、事業を実施して参りました。また、方針の策定から3年を経過しましたことから、事業の内容及び成果について検証を行いました。これまで実施した事業に参加いただいた企業にヒアリングを行った結果、一部内容の変更が必要な事業はありますが、全ての事業について継続することとなりました。今後も皆様に御意見をいただきながら事業を実施してまいります。

また、Facebook や県ホームページ及びメールマガジンによる活動周知を行い、広報活動の充実を図りました。会員拡大に向けた活動の結果、企業会員4社に新規入会いただき、令和元年度末時点の会員数は222会員となっております。

【主な事業の実績の推移】

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
【小中】工場見学等(回)	74	56	38	52	60	55	60	56	60	68	68
【高校】実技講習会(回)	121	91	60	27	28	44	47	34	44	38	37
【高校】出前授業等(回)	30	50	69	28	43	24	19	25	30	46	37
【企業】いわて塾塾生(名)	45	48	16	42	54	54	49	57	26	34	28

※いわて塾はH29年度から1期のみの開催

I 小中学校対象事業

工場見学・出前授業支援

工場見学・出前授業の支援を、延べ68校(小学校49校、中学校19校)、約3,980名の生徒及び児童に対し、68回(うち工場見学61回、出前授業7回)実施しました。学校から「学習に大いに役立った」と好評をいただいております。アンケート結果は見学先企業へフィードバックしております。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。工場見学に伴うバス代等に対する補助金交付による支援も行っており、今年度は30校に対して交付しました。



ものづくり体験教室 in 工場

長期休暇中の小学生を対象とした「ものづくり体験教室 in 工場」を、今年度は夏冬各2回、計4回開催しました。

花巻会場	(株)アイオー精密	小学生12名、保護者7名
一関会場	川嶋印刷(株)	小学生10名、保護者6名
北上会場	(株)薄衣電解工業	小学生15名、保護者9名
奥州会場	鎌田段ボール工業(株)	小学生21名、保護者16名



アンケート結果では、製作体験・工場見学ともに「楽しかった」と好評でした。参加者からは、「地元を代表するような企業を子供達に知ってもらうことは大切だと感じた。」「親と子供と一緒に製作体験や工場見学をできる機会はないので、とても貴重な体験だった。」との声をいただきました。御協力いただいた企業からは「保護者の皆様にも企業を知ってもらう良いきっかけとなった。」という感想を頂戴しています。

小中学生ものづくり理解促進事業

団体会員及び学校会員による、小中学生のものづくりに対する興味関心を高める体験型行事の開催を支援しました。団体会員では4件、学校会員では7件の取り組みを支援し、延べ1,000人以上の小中学生が参加しました。



II 高校・短大等対象事業

実技講習会等支援

技能検定試験や電気工事士の資格取得に向け、企業講師による実技講習会の支援を 37 回実施しました。講師の方々の熱心な指導により、受講者の合格報告が多数届けられています。

なお、黒沢尻工業高等学校機械科実技講習会（溶接）に取り組んだ2年生2名が溶接技能競技県大会にて、優勝（満点）と4位入賞の素晴らしい成績を収めました。ものづくりNWでは講習材料（溶接棒）を支援しました。



◆黒沢尻工業高校機械科溶接講習会◆
令和元年12月25日（水）

【県内工業高校の技能検定合格者数】

	H18	H28	H29	H30	R1
普通旋盤	43	116	120	117	集 計 中
NC旋盤		6	13	2	
フライス盤		7	7	1	
電子機器組立	13	66	99	111	
シーケンス制御		63	55	49	
機械保全		227	144	92	
電気保全		0	0	0	

【県内工業高校の電気工事士合格者数】

	H18	H28	H29	H30	R1
第一種	20	114	103	88	集 計 中
第二種	196	248	224	276	
合計	216	362	327	364	

出前授業・工場見学支援

工場見学・出前授業の支援を 28 回実施しました。黒沢尻工業高校専攻科では、地域のものづくり企業経営者等を講師とした出前授業「地域産業論」を、4月から9月にかけて全 26 回実施しました。専攻科生徒は、講師から貴重なお話を頂き、熱心に学んでいる様子でした。



◆地域産業◆
講師：柳やまびこ盛岡事業所 佐々木一則 様

III 指導者研修支援事業

指導者研修支援

岩手県教育委員会で主催する実践的キャリア教育研修会に対する支援を行いました。この研修会は、小中学校でキャリア教育を担当する教員を対象に、各教育事務所単位で実施されています。県南教育事務所では8月26日にイワフジ工業(株)、中部教育事務所では9月6日にTDK秋田(株)北上工場からのご協力をいただき、研修会が実施されました。その他にも、地域ごとの教育研究会等が実施する企業見学や講演講師紹介等の支援を、計12回行いました。



◆県南教育事務所◆
於：イワフジ工業(株)

教員向けミニ企業見学会

地域企業に対する理解を深め、キャリア教育や進路指導等に役立てることを目的として、小中高等の教員を対象に「教員向けミニ企業見学会」を開催しました。

今年度は花巻地区4社、北上地区10社、一関地区4社の企業及び産技短水沢校への見学会を実施し、述べ85名の先生方等に御参加いただきました。参加した教員からは、「企業側からの詳しい説明や質疑応答により、見学者側の知識、進路情報の確認が深まり、生徒の進路指導の仕方に幅を持たせる機会になった。」「工場内、従業員の現場の雰囲気を感じられ、大変参考になった。生徒本人が就業前に見学・体験することは大変重要と感じた。」と好評でした。

来年度は、奥州・金ケ崎地区、盛岡地区での開催を予定しています。



◆ミニ企業見学会◆
於：(株)アイオー精密



◆ミニ企業見学会◆
於：東北KAT(株)

III 会員企業対象事業

ものづくりいわて塾

「ものづくりいわて塾（第23期）」は5月から11月まで計7回開催され、15社26名が卒塾しました。

今期も沿岸広域振興局（釜石）が主催する沿岸サテライト第10期生との合同研修や瀬美温泉における合宿研修を実施し、あわせて北上川流域や沿岸の企業見学を行い、改善の考え方や現場改善の“気づき”を学びました。

また、いわて塾OB会（第14回 先進企業見学会）では県北を訪れ、1着流し生産の紳士服縫製やワイヤーハーネスの組付け等地域で輝く企業のものづくりを見学しました。（第15回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対応で中止となりました。）



◆ものづくりいわて塾◆

グループ勉強会「生産性向上のためのからくり改善勉強会」

「シンプル」「手作り」「ローコスト」なからくり改善を勉強することで、自社で抱える問題を創意工夫により改善し、生産性を向上することを目的に、勉強会を開催しました。昨年度に引き続き、講師をトヨタ自動車東日本株の佐藤好夫氏、世話人を株式会社ミクニの大下隆之氏にお願いし、2人のご指導の下、3社4名が自社の課題解決に向けて取り組みました。

からくりの基礎を学習したのち、相互見学会やグループ討議で得たヒントを基に各々がからくりを作成し、2月20日の成果発表会では3社各々の成果と今後の更なる改善への抱負が語られました。発表終了後には受講者の上司を交えて情報交換を行いました。

来年度は、からくり理論を学ぶ「初級編」、自社の課題に取り組む「実践編」に分けての実施を予定しております。



◆からくり改善勉強会◆



◆からくり改善勉強会◆

グループ情報交換会「採用力向上のための勉強会」

地域企業の「採用力向上」をテーマとした勉強会を、県南広域振興局との共催により実施しました。

4月17日と5月24日には高卒採用編、11月27日には大卒採用編と、それぞれ対象別の勉強会を計3回実施しました。

高卒採用編では、高校教員と企業の座談会や、求人票の書き方や面接の仕方などの勉強を行い、大卒採用編では欲しい人物像を描きアプローチするペルソナリクレーティング®の勉強と就活を終えた大学生との情報交換を行いました。また、参加企業同士の情報交換も行いました。

参加者からは、「何に取り組んでいけばいいか明確になった。」、「他社との意見交換ができ参考になった。」、「先生や学生の生の声を聞くことができ、参考になった。」などの感想をいただきました。

来年度も「採用力向上」をテーマとした勉強会の開催を予定しています。



◆採用力向上のための勉強会◆



◆採用力向上のための勉強会◆

いわて3Sサミット

「第6回いわて3Sサミット」を令和2年2月14日にさくらホールにて開催しました。来場者数は170名で、「いわて3S実行委員会」委員長を務める(株)鬼柳 葛西君彦様の主催者挨拶と(株)I・M・Dワークス 代表取締役社長 川端政子様「3Sはじめの挨拶」からはじまりました。3S講演会では大阪府から枚岡合金工具(株) 代表取締役社長 古芝義福様に「たかが3S活動、されど3S活動～20年継続してきた秘訣～」と題してお話いただきました。事例発表、ポスター発表を行い、サミットは盛況のうちに終了いたしました。どの発表・講演についても「やる気が出た」「参考になった」との声が多くいただいております。

発表いただいた企業・団体様、ご来場いただいた皆様、運営に協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

いわて3Sサミット ～つづき

- 事例発表企業（五十音順）・・・3社
 - ・(有)ウスイ製作所（いわて3S大賞）
 - ・(株)薄衣電解工業 北上工場（いわて3S奨励賞）
 - ・和同産業(株)（いわて3S奨励賞）
- ポスター発表企業（五十音順）・・・9社
 - ・アイシン東北(株)
 - ・(株)市川製作所
 - ・いわてデジタルエンジニア育成センター
 - ・(有)ウスイ製作所
 - ・(株)薄衣電解工業 北上工場
 - ・黒沢尻工業高等学校専攻科
 - ・県北ものづくり改善塾
 - ・シオノギファーマ(株) 金ヶ崎工場
 - ・和同産業(株)



★北上川流域ものづくりネットワークのホームページが開設されました

3月末より、北上川流域ものづくりネットワークのホームページを公開しました。NWの活動紹介や会員紹介、各事業のお知らせや募集、事業への協力依頼などを行ってまいります。今後さらに内容や機能の充実を図っていきますので、ご協力をお願いいたします。

URL : <https://kitakamigawa-monozukuri.net>



北上川流域ものづくりネットワーク事務局（岩手県 県南広域振興局 経営企画部 産業振興室）

〒023-0053 岩手県奥州市水沢大手町1-2 Tel : 0197-48-2421 Fax: 0197-22-3749

<https://www.facebook.com/kitakamigawanw>

